

W-2-3

カラチャイ・バルカル語の補助動詞 **-(I)b iy-**, **-(I)b kal-**, **-(I)b koy-** に関する対照研究*

菅沼健太郎 (金沢大学)

suganumak@staff.kanazawa-u.ac.jp

1. はじめに 3つの補助動詞 (**-(I)b iy-**, **-(I)b kal-**, **-(I)b koy-**)

カラチャイ・バルカル語はチュルク諸語のうち北西語群に属し、主にコーカサス地方で話されるほか、トルコ共和国の一部地域でも話されている言語である。同言語には **-(I)b iy-** “lit. ～て送る”、**-(I)b kal-** “lit. ～て残る”、**-(I)b koy-** “lit. ～て放置する” という3つの補助動詞がある。Urusbiev (1963: 105-106) はこれらをひとまとめにして、「予期せぬ非意思的な行動をあらわし、時に瞬時の状態変化をあらわす」としているが、これらの相違点については触れていない。一方の Takuev (1979: 50-59) はこれらを別個のものとして扱い別々の記述を行っている。しかし、それぞれを対照する形での記述ではないため、体系的な共通点と相違点をつかむことができていない¹。そこで、本発表ではこの3つを対照しそれぞれの意味と形態に関する記述を行う。そして各補助動詞間に (1) に示す共通点と相違点がみられることを示す²。

(1) **-(I)b iy-**, **-(I)b kal-**, **-(I)b koy-** の共通点と相違点

a. 共通点：3つ全てが「素早い完了」を表す。

b. 相違点：共起可能な主動詞の種類と「素早い完了」の様態

-(I)b iy-：主に意志動詞と共起し、非意図的な完了を表す。≒知らずに～した。

-(I)b kal-：主に無意志動詞と共起し、無意志的な完了を表す。≒自然と～した。

-(I)b koy-：主に意志動詞、そして一部の無意志動詞と共起し、意図的な完了または非意図的な完了を表す。この意図性、非意図性は主動詞の意味に依存して決まる。≒わざと

* 本発表のデータは下記に示す母語話者 A 氏から得られたものである。A 氏はトルコ共和国出身であるため例文内にもトルコ語の語彙が現れることがある。また例文中の /I, A/ はそれぞれ母音調和によって [i, ü, u, a], [a, e] のいずれかに交替する母音を表す。

母語話者 A 氏：1973 年生まれ、トルコのエスキシェヒル県、エスキシェヒル市出身。祖父母世代はロシアからトルコに移民したカラチャイ語母語話者である。A 氏はカラチャイ語とトルコ語のバイリンガルであるが、第一言語はカラチャイ語であり、親族やカラチャイコミュニティー内での会話で用いている。

なお、本発表は文部科学省の卓越研究員事業、科研費（課題番号 21K12980）、および AA 研共同利用・共同研究課題「チュルク諸語における情報構造と知識管理—音韻・形態統語・意味のインターフェイス—」の支援を受けたものである。また本予稿集原稿は副動詞研究会（2022 年 10 月 26 日、Zoom での開催）、第 4 回キプチャク語群研究会（2023 年 3 月 28 日、大阪大学での開催）、および 2022 年度 CSEL 年次総会（2023 年 3 月 29 日、京都大学羽田記念館での開催）で発表者（菅沼）が発表した内容に加筆、修正を加えたものである。母語話者の A 氏、および各研究会においてコメントをくださった方々に感謝申しあげる。

¹ Takuev (1979: 50-59) の記述の一部を以下に示す。**-(I)b iy-**：突然の行動、**-(I)b kal-**：予期せぬ行動、**-(I)b koy-**：完了、非意図的行動。

² Baskakov et. al. (1966: 180-181) には本発表で扱う 3 つの補助動詞以外にも動作完了を表す補助動詞があることが記されているが、母語話者 A 氏に伺ったところ、あまり使わないものや知らないというものが混在していた。**-(I)b iy-**, **-(I)b kal-**, **-(I)b koy-** については自身もよく使用することだったので、本発表ではこの3つに限定して議論を進めることにする。

～した／知らずに～した。

2. 共通点：素早い完了

これら 3 つの補助動詞は全て (2) に示すように、「10 分で」のように動作完了までの所要時間を表す表現とは共起できる一方で、(3) に示すように「10 分間」のように動作継続時間を表す表現とは共起できない。これはこの 3 つの補助動詞が**完了**という意味を付加するためだと考えられる。また、「10 分で」のような所要時間を表す表現と共起した場合、その所要時間が話者にとっては予想よりも**早い**という意味が生じる。

(2) 動作完了時間表現+3 つの補助動詞：文法的

a³. ^{ok-?}üf takiyka-da buz-ub iy-di-m.
3 分-LOC 壊す-CNV 送る.AUX-PST-1.SG

“私は [たったの] 3 分で壊した。”

b. oŋ takiyka-da dʒukla-b kal-du-m.
10 分-LOC 眠る-CNV 残る.AUX-PST-1.SG

“私は [たったの] 10 分で眠った。”

c. oŋ takiyka-da afa-b koy-du-m.
10 分-LOC 食べる-CNV 放置する.AUX-PST-1.SG

“私は [たったの] 10 分で食べた。”

(3) 動作継続時間表現+3 つの補助動詞：非文

a. *üf takiyka afa-b iy-di-m.
3 分 食べる-CNV 送る.AUX-PST-1.SG

“私は 3 分間食べた。”

b. *oŋ takiyka dʒukla-b kal-du-m.
10 分 眠る-CNV 残る.AUX-PST-1.SG

“私は 10 分間眠った。”

c. *oŋ takiyka karuʃtur-ub koy-du-m.
10 分 かき混ぜる-CNV 放置する.AUX-PST-1.SG

“私は 10 分間かき混ぜた。”

3. 相違点にも着目した各補助動詞の用法の記述

3.1. -(I)b iy-

-(I)b iy- は以下の (4a) に示す生理現象や心理現象を表す自動詞とは共起できない。宮島 (1972:

³ (2a) については (2b, c) と比較するとやや容認度は落ちるようである。ただし、(3a) と比較すると、(3a) については明確に非文とされる一方、(2a) はまだ容認できるという差異がみられる。

424-425) の日本語の動詞分類を適用すれば (4a) は無意志動詞とまとめられる。一方 -(I)b iy- が共起できる動詞には (5) に示すような自動詞や他動詞がある。これらは主体の制御の下実現する動作を表すと考えられ、(4a) と対比すれば意志動詞とまとめられる。ただし、意志動詞と目されるものであっても、(4b) に示す他動性の低い動詞は -(I)b iy- とは共起できない。これを考慮すれば、「-b iy- と共起できるのは意志動詞に限られ、かつ他動詞の場合は他動性が高いものに限られる」とまとめることができる。

(4) -(I)b iy- と共起できない動詞

- a. 生理現象や心理現象を表す自動詞（無意志動詞）： *dzukla-* “眠る”、*öl-* “死ぬ”、*terle-* “汗をかく”、*ilgen-* “恐れる”（目的語は対格でなく奪格でマークされる）”
- b. 他動性の低い他動詞（知識動詞、再帰的動詞）： *bil-* “知る”、*üren-* “学ぶ、覚える”、*kiy-* “着る⁴”

(5) -(I)b iy- と共起できる動詞の例

- 自動詞： *džürü-* “歩く” *kuşfür-* “叫ぶ”、*tepe-* “踊る”、*kir-* “入る”
 他動詞： *buz-* “壊す”、*öltür-* “殺す”、*ayt-* “言う”、*oku-* “読む”

-(I)b iy- は不注意や間違いによりその行為をしてしまった、という過失の意味をもたらす。

- (6) a. *küflü gurdžun-nuu afa-b iy-di-m.*
 カビの生えた パン-ACC 食べる-CNV 送る.AUX-PST-1.SG

“（よく確認せずに、しらないで）私はカビの生えたパンを食べた。”

- b. *suw de-b araku-nuu iŋ-ib iy-gen=di.*
 水 言う-CNV 酒-ACC 飲む-CNV 送る.AUX-PERF=3

“彼（彼女）は水だと思ってお酒を飲んだそうだ。”

すなわち、-(I)b iy- は本来は主体の制御の下実現する行為が非意図的に（＝主体が望んでいないにもかかわらず）実現することを表すと考えられる。これに関連して、-(I)b iy- は (7a) に示すように意志形接尾辞 /-AyIm/ と共起できない。これは -(I)b iy- による「非意図的（望んでいない）」という意味と、意志形のもつ「その行為の実現を望む」という意味が相反する性質をもつためだと説明できる。

- (7) a. **tambla Ankara-ka ket-erik=me anu üfün bu gurdžun-nuu afa-b iy-eyim.*
 明日 アンカラ-DAT 行く-FUT=1.SG そのため この パン-ACC 食べる-CNV 送る.AUX-1.SG.VOL

“明日アンカラに行くから、このパンを食べ {よ／てしまお} う。”

- b. 後述の -(I)b koy- は意思形にできる。

⁴ *kiy-* “着る” は衣服の着点の主語自身でなければいけない点で再帰的といえる。

tambla Ankara-*ka* ket-erik=*me* anu üfün bu guırdzun-nu a[fa-b koy-ayum.
 明日 アンカラ-DAT 行く-FUT=1.SG そのため この パン-ACC 食べる-CNV 放置する.AUX-1.SG.VOL

“明日アンカラに行くから、このパンを食べ {よ／てしまお} う。”

これらを踏まえると -(I)b iy- の機能は以下のようにまとめることができる。

- (8) -(I)b iy- : 意志動詞（ただし他動詞の場合は他動性が高いものに限られる）と共起し、その動作が非意図的に素早く完了したことを表す。

3.2. -(I)b kal-

-(I)b kal- は (4a) に示した無意志動詞と共起する。

- (9)=(4a) -(I)b kal- と共起できる動詞

dzukla- “眠る”、öl- “死ぬ”、terle- “汗をかく”、ilgen- “恐れる”

-(I)b kal- は (5) に示したような意志動詞とは基本的に共起しない。ただし、主語が無生物、すなわち主語が無意志的なものである場合には共起できる ((10a) また、(4b) の動詞も (10b) のように文脈上話し手が無意志的に（脱意志的に）動作を行っている」と解釈される場合には共起することができる。

- (10) a. džel-de top tejik-ge kir-ib kal-duu.
 風-LOC ボール 穴-DAT 入る-CNV 残る.AUX-PST

“風で（＝風に吹かれて）ボールが穴に入った。”

- b. üf ay-da üren-ib kal-luk=sa.
 3 月-LOC 学ぶ-CNV 残る.AUX-FUT=2.SG

“君は3か月で（自然と）学ぶ（学んでしまう）よ。”

意味について述べると、母語話者の感覚によれば、「自然とそうなった」という意味合いが出るとのことであった。例えば知識動詞 *üren-* “学ぶ” は -(I)b kal- だけでなく後述の -(I)b koy- と共起できるが、-(I)b kal- の方は先述の通り無意志的、すなわち「自然と習得した」という意味が ((11a))、-(I)b koy- の方は「何らかの工夫がなされた結果習得した」という意味が生じるという ((11b))。

- (11) a. eki ay-da inglizdže-ni üren-ib kal-duu.
 2 月-LOC 英語-ACC 学ぶ-CNV 残る.AUX-PST

“2か月で英語を（自然と）学んだ。”

- b. eki ay-da inglizdže-ni üren-ib koy-du.
 2 月-LOC 英語-ACC 学ぶ-CNV 放置する.AUX-PST

“2か月で英語を（学校に行くなどして）学んだ。”

これらを踏まえると **-(I)b kal-** の機能は以下のようにまとめることができる。

- (12) **-(I)b kal-** : 語彙的、あるいは文脈的に無意志動詞となっている動詞と共起し、その動作が素早く完了したことを表す。

なお、「自然とそうなった」という無意志的意味は **-(I)b kal-** と共起できる主動詞それ自体がそのような意味を語彙的、文脈的にもっているため生じていると考えられるが、**-(I)b kal-** が主動詞にそのような意味をさらに付加している可能性もある。この点については今後検討する必要がある。

3.3. **-(I)b koy-**

-(I)b koy- は (4a) の無意志動詞とは共起せず、それ以外とは共起可能である。ここで3つの補助動詞の共起可能な動詞と共起不可能な動詞をまとめると以下ようになる。

(13)

	(5) 意志動詞	(4a) 無意志動詞	(4b) 他動性が低いと目される動詞
-(I)b iy-	✓	*	*
-(I)b kal-	主語が無生物なら ✓ cf. (10a)	✓	無意志的解釈なら ✓ cf. (10b)
-(I)b koy-	✓	*	✓

(5) の動詞と特に制限なく共起できる点で、**-(I)b koy-** は **-(I)b iy-** に類似するが、相違点として **-(I)b koy-** は意志形接尾辞 **/-AyIm/** と共起できる点が挙げられる。(7a) でも見たように、**-(I)b iy-** は **/-AyIm/** と共起できないため、ここに **-(I)b iy-** と **-(I)b koy-** の違いが見て取れる。(7b) で示したように **-(I)b koy-** は意志形にすることで「今のうちに～してしまおう、しておこう」のように意図的に(=その動作の実現を主体が望む形で) その動作を素早く完了させることを表すことができる。加えて、(14b) のように **-(I)b iy-** を **-(I)b koy-** に置換するとやはり意図的な解釈になる。

- (14) a. küflü gurdzun-nuu afa-b iy-di-m. = (6a)
カビの生えた パン-ACC 食べる-CNV 送る.AUX-PST-1SG

“ (よく確認せずに、しらないで) カビの生えたパンを食べた。 ”

- b. küflü gurdzun-nuu afa-b koy-du-m.
カビの生えた パン-ACC 食べる-CNV 放置する.AUX-PST-1SG

“ (食べ物がないため、ほかにやりようがないので) カビの生えたパンを食べた。 ”

しかし、動詞によっては **-(I)b iy-** 同様非意図的な意味になる。現時点ではそのような動詞には (15a) : 動詞本来の意味として、元からその行為の実現が望ましくないもの、(15b) : 他動性が低いと目されるもの、の2種類があるようである。

- (15) **-(I)b koy-** と共起した際非意図的な意味をもつ動詞
- a. 動詞本来の意味として、元からその行為の実現が望ましくないもの：**buz-** “機械類を壊す”、**sundur-** “割る”、**kanat-** “出血させる”⁵
 - b. 他動性が低いと目されるもの（ここにあげるものは全て (4b) 同様 **-(I)b iy-** とは共起不可)
 - i. 再帰的動詞：**kesi butun sundur-** “自分の足を折る (a にも該当) ”、**üfüt-** “体を冷やす ≒ 風邪をひく (a にも該当) ”
 - ii. 目的語に直接的変化を与えないもの：**tas et-** “なくす (a にも該当) ”、**efit-** “（無意識に）聞く”、**tab-** “見つける”

(15a) については元から望ましくないという世界知識から非意図的なニュアンスが生じている可能性がある。(15b) については (13) に示したように **-(I)b iy-** は他動性が低いと目される動詞とは共起できないため、そのような動詞の場合は **-(I)b koy-** が用いられ、非意図的動作を表すのだと考えられる。**-(I)b koy-** が (14) のように意図的な動作を表し、かつ (15) のように非意図的な動作も表すことを考えると、**-(I)b koy-** は積極的に意図性に関する意味付加をする役割はもっておらず、意図性、非意図性は主動詞の意味に依存すると考えられる。また、(15) の **üfüt-** “体を冷やす（風邪をひく）” のような無意志的他動詞も **-(I)b koy-** と共起できることを踏まえると、**-(I)b koy-** の役割は以下のようにまとめられる。

- (16) **-(I)b koy-** : 他動詞（意志的なもの、無意志的なもの含む）、および意志的な自動詞と共起し、その動作が素早く完了したことを表す。（非意図的に完了したかどうかは主動詞の意味によって異なる。）

参考文献

- Baskakov, Nikolai Aleksandrovich et. al. (1966) *Qarachay-Malkar tilni grammatikasy* [The grammar of Karachay-Balkar]. Nal'chik: Qarachay-Malkar kitap basma.
- Tekuev, Mussa (1979) *O glagol'nom slovoslozhenii v karachaevo-balkarskom yazyke* [On verb compounding in Karachay-Balkar]. Nal'chik: Knizhnoe izdatel'stovo.
- Urusbiev, Ibragim (1963) *Spryazhenie glagola v karachaevo-balkarskom yazyke* [Verb conjugation in Karachay-Balkar]. Cherkessk: Karachaevo-cherkesskoe knizhnoe izdatel'stovo.
- 宮島達夫 (1972) 『動詞の意味・用法の記述的研究』東京：秀英出版。

略記一覧 - : 接辞境界、= : 接語境界、1 : 1 人称、2 : 2 人称、3 : 3 人称、ACC : 対格、AUX : 補助動詞、CNV : 副動詞、DAT : 与格、FUT : 未来、LOC : 位格、PERF : 完了、PST : 過去、SG : 単数、VOL : 意向

⁵ **-(I)b koy-** と共起した (15a) の動詞は「今日のうちに壊しておこう」のような意図的な解釈も可能である。**-(I)b koy-** と共起した (15b) の動詞が意図的な解釈をできるかは未調査である。